

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です



鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

外観イメージ (南西側)



平塚橋会館跡高齢者福祉施設及び区営住宅等複合施設 (外観イメージ南西側) 全室個室型特養ホーム100床 ショートステイ12床。区営住宅48戸、シルバーセンター

請願運動24回・署名数合計4万1186人分。共産党は議会論戦で相談を受けた切実な実態を訴え、23区調査で最低レベルの整備率も告発してきました。こうした取り組みが「もうつくりたくない」との区

住民運動と共産党の取組みで4ヶ所増設を実現

待機者6111人 申請者の86%が入れない

特養ホームのさらなる増設を

の方針を切り替えさせ、11年ぶりに八潮に、さらに今年杜松小学校跡・29床、16年平塚橋会館跡・100床、17年上大崎102床、合計231床の特養ホーム増設が実現することになったのです。

しかし、待機者は現在6111名。231床ではとても足りません。

特養ホーム入所状況

(介護度別と年齢別―左表)
品川区は半年ごとに特養ホーム

介護度	申込人数	入れた人数と割合	入れなかった数
要介護5	84	16(19%)	68
要介護4	154	29(19%)	125
要介護3	186	31(17%)	155
要介護2	90	6(7%)	84
要介護1	80	0	80
合計	594	82(14%)	512(86%)

年齢	申込人数	入れた人数と割合	入れなかった数
100歳以上	3	1(33%)	2
90代	143	34(24%)	109
80代	280	39(14%)	241
70代	146	7(5%)	139
60代	22	1(5%)	21
合計	594	82(14%)	512(86%)



入所申込を締め切り、点数をつけて入所調整会議で半年間に入れる人を決定します。

表面の表は、平成25年3月1日～8月31日までに申し込み、平成26年2月末までの入所状況です。申し込んだ人の内、入れたのはわずか14%、86%の人は入れません。

品川区には 土地もお金もありま す

区は、「増設計画をつくれ」との共産党の提案に、「3ヶ所完成後考える」と計画策定を拒んでいます。100人規模の特養ホームは、建設費20億円、必要な用地は3000㎡。

品川区には、区民サービスを削って貯めこんだ基金が毎年増え続け、なんと712億円にもなります。用地も、旧荏原四中跡、旧第一日野小跡や都有地・国有地など利用可能な土地が東京ドーム1個分超あります。これは特養ホーム13施設分に相当する大きさです。

(林試の森に隣接する国有地↓
2万3710㎡)



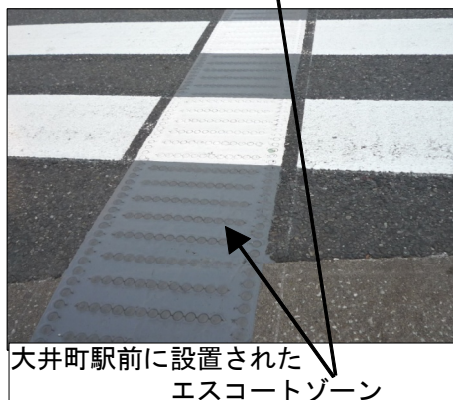
区議団で利用可能な土地を調査
(旧荏原第四中跡↑)

世論と運動で、増設を 迫っていきましょう

八潮を含めて4ヶ所特養ホームの増設は、長年の区民と共産党の運動の大きな成果です。

この経験を生かして、「国民年金の人でもはいれる特養ホームのさらなる増設を」と世論と運動を広げましょう。

視覚障害者が安全に横断歩道を渡るための 大井町駅周辺にエスコートゾーン実現



大井町駅前に設置された
エスコートゾーン

共産党区議団は、視覚障害者の方々と一緒に大井町駅周辺を歩いて安全対策の実態を調査、点字ブロックやエスコートゾーン、音響信号など具体的な場所を示し、区に要望書を提出していました。

この点字ブロックに続いて、横断歩道を安全に渡るためのエスコートゾーンの設置が大井町駅周辺に3か所実現しました。これはまだ一部です。これからも引き続き安全対策にとりくみます。

医療と介護 学習会

5月17日(土)
午後1時30分

中小企業センター
大講習室

講師

前沢 淑子

(中央社保協・事務局次長)

報告：品川の福祉は今
鈴木ひろ子

主催：品川の医療と介護をよくする会、品川社保協、あたたかい品川区制をつくるみんなの会